

2025年6月期 第1四半期

決算説明資料

前田工織株式会社

東証プライム:7821



目次

1. 2025年6月期 第1四半期 決算の概要	3
2. セグメント別決算概要	15
3. 2025年6月期業績予想	20
4. MDKグループ中長期ビジョン グローバルビジョン∞ -PART II -	24
5. 会社概要	32

1

2025年6月期 第1四半期 決算の概要

第1四半期決算ハイライト

売上高

156 億円

通期計画進捗率26.1%

粗利益

61 億円

前期比増減率20.2%

営業利益

36 億円

通期計画進捗率32.4%

EBITDA

44 億円

通期計画進捗率30.7%

経常利益

33 億円

通期計画進捗率29.9%

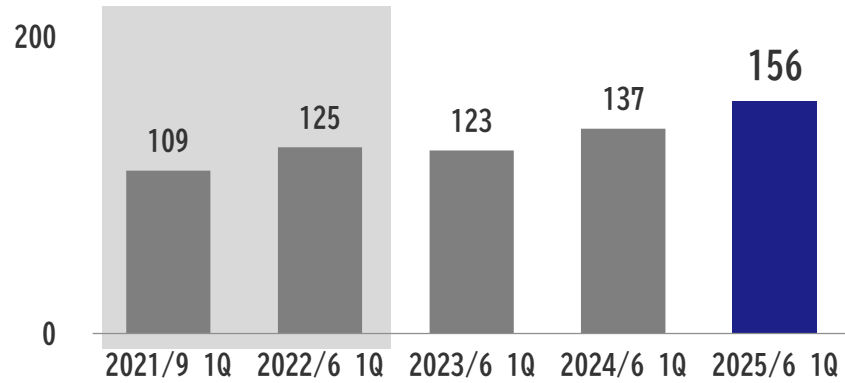
四半期純利益

22 億円

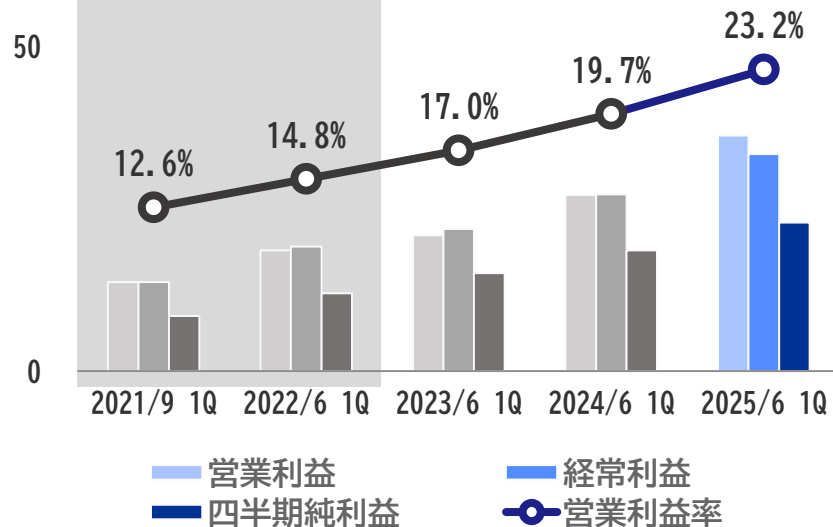
通期計画進捗率29.8%

連結決算サマリ

売上高



利益

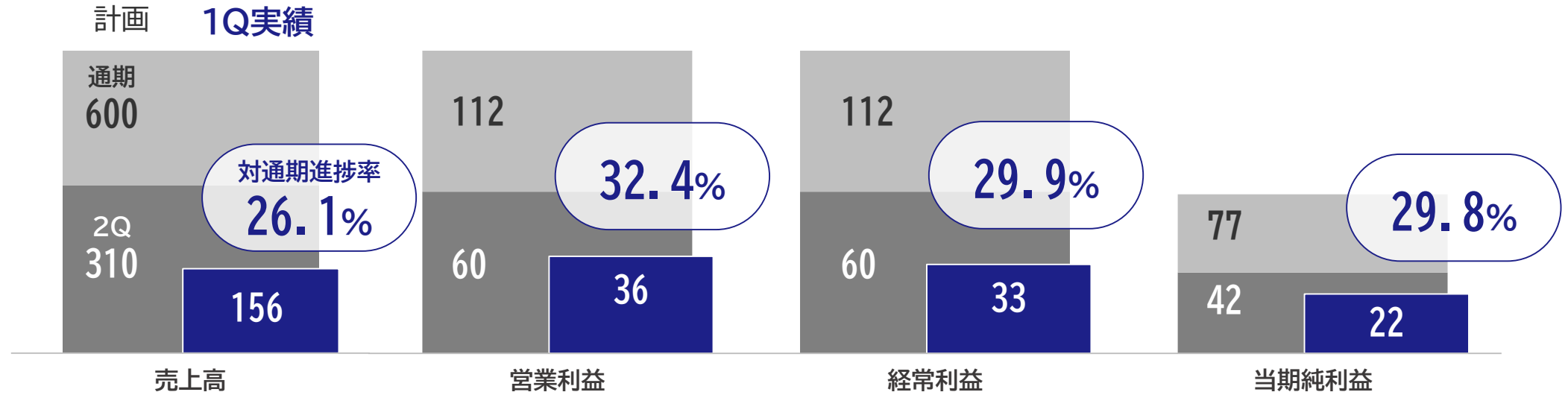


	2024年6月期 1Q		2025年6月期 1Q		
	実績	売上比	実績	売上比	増減率
売上高	137	—	156	—	13.6%
営業利益	27	19.7%	36	23.2%	33.9%
EBITDA	34	25.2%	44	28.4%	27.8%
減価償却費	7	5.5%	8	5.2%	6.3%
経常利益	27	19.8%	33	21.4%	22.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	18	13.5%	22	14.7%	23.4%



※決算期変更により、2021/9期～2022/6期の第1四半期の業績の期間は9/21～12/20です。

計画と実績値との比較



2025年6月期	1Q実績	2Q計画		通期計画	
		金額	進捗率	金額	進捗率
売上高	156	310	50.5%	600	26.1%
営業利益	36	60	60.5%	112	32.4%
E B I T D A	44	76	58.5%	145	30.7%
経常利益	33	60	55.8%	112	29.9%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	22	42	54.6%	77	29.8%

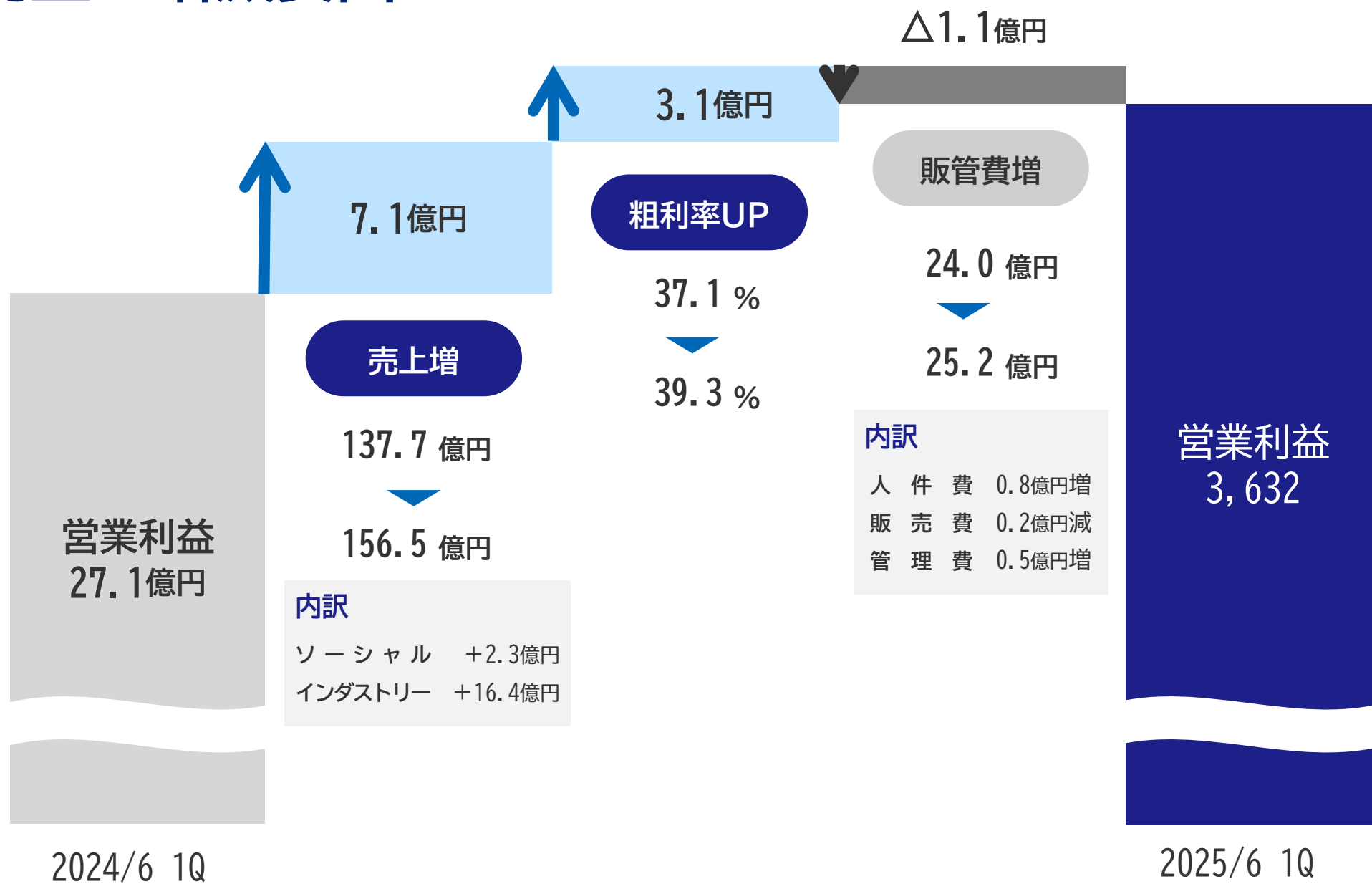
※ E B I T D A = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額



粗利益の増減要因



営業利益の増減要因



財政状態

総資産 802.4億円

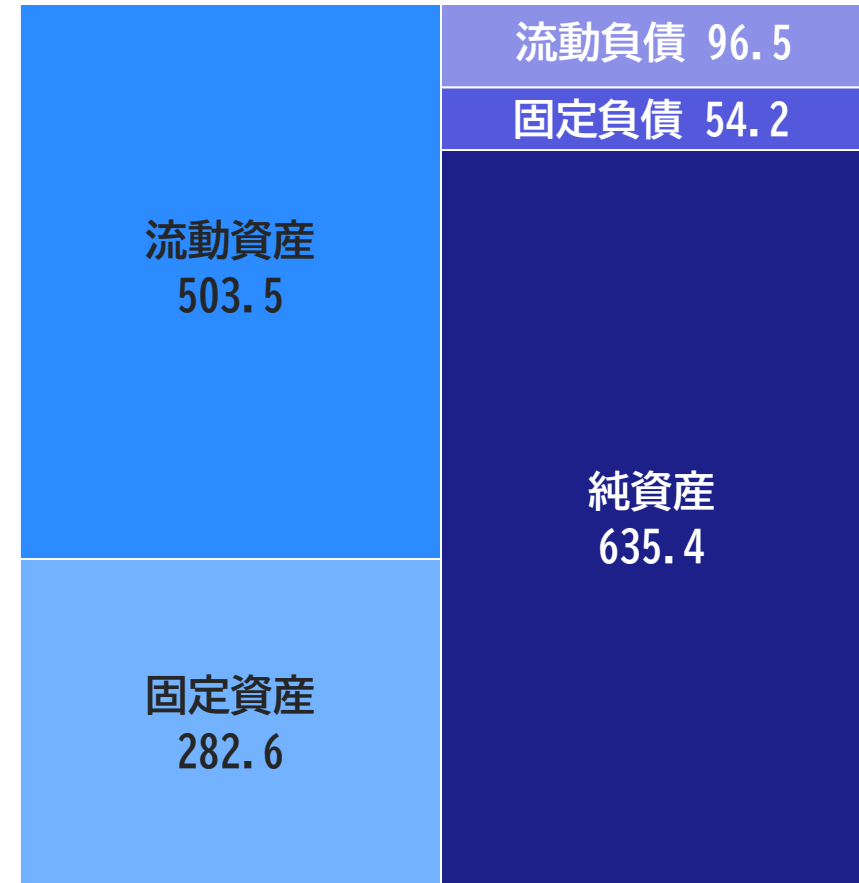


資産

負債・純資産

2024/6 期末

総資産 786.1億円



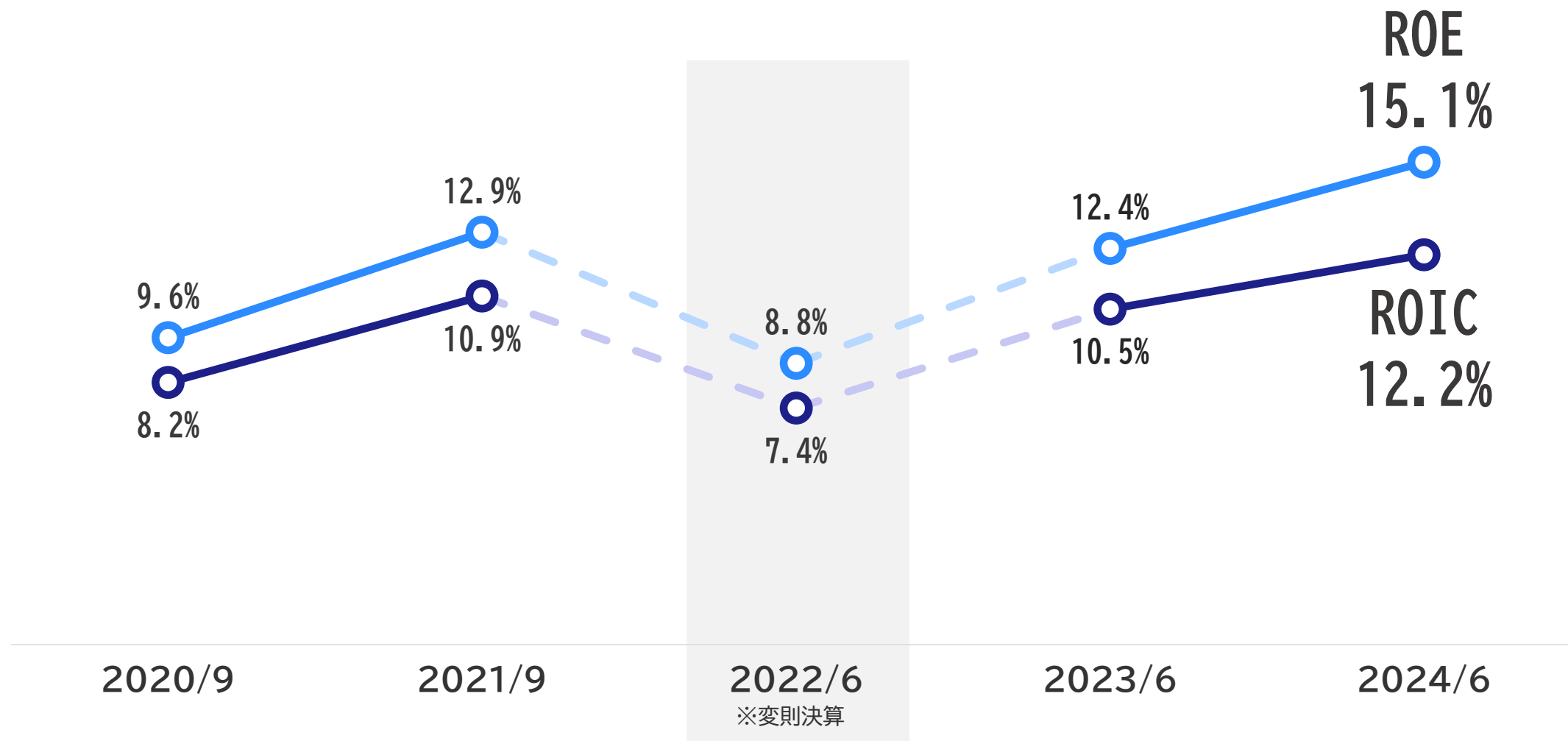
資産

負債・純資産

2025/6 1Q末

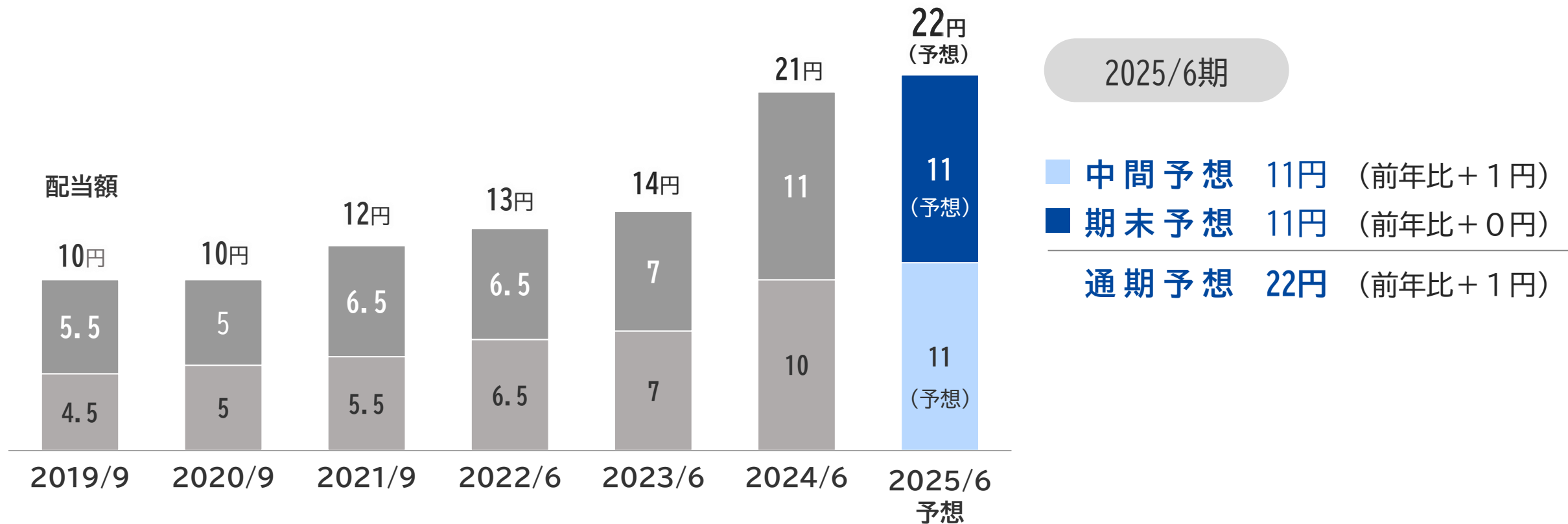


経営指標 – ROE・ROIC推移



※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

株主還元策(配当)



※当社は2024年7月1日をもって1株につき2株の割合で株式を分割しており、配当額については分割考慮後の金額で記載しております。

TOPICS – 信用格付「A-」を取得

信用格付の前提

発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定どおりに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見

格付機関	格付名称	格付	信用格付を付与した日
格付投資情報センター (R&I)	発行体格付	BBB+ → A- (一段階格上げ)	2024年11月6日

格付理由(R&I公表資料より抜粋)

「土木・環境資材を中心とするソーシャルインフラ事業と、高価格帯に強いBBSブランドの軽合金鍛造ホイールが柱のインダストリーインフラ事業を展開する。複数のM&A(合併・買収)やBBSでの設備投資の成果で**収益成長**が続いており、発行体格付を**BBB+**から**A-**に変更した。」

TOPICS – 新商品の上市

ため池安全対策ネット「ため池救命ネット」



万が一の際

斜面に対して「浮き」が発生

→ 指を掛けて這い上がりやすい



ため池の法面に施工、転落時の這い上がりを補助

- 高強度で耐久性の高い
ポリエステル製ラッセル網を使用
- 施工時の展開、固定が容易にできる



指を掛けやすく
少し浮いてくれるので
楽な姿勢で登れる

ため池転落事故の
減少に貢献

TOPICS – 新商品の上市

プラスチック製ラス網「プララス網」

法面に施工、モルタルの剥落防止下地網



独自技術で付着性に優れた繊維製ネット

- ・ 従来の金網に比べ5分の1の重量
- ・ 耐薬品性の高い化学繊維が錆を防止
- ・ 吹き付け材料がしっかり付着するネット材を使用



独自の技術
このループ状が付着のポイント

モルタルが
しっかり付着して
液だれしない



モルタル吹付状況

NETIS登録製品(国土交通省:新技術情報提供システム)





2

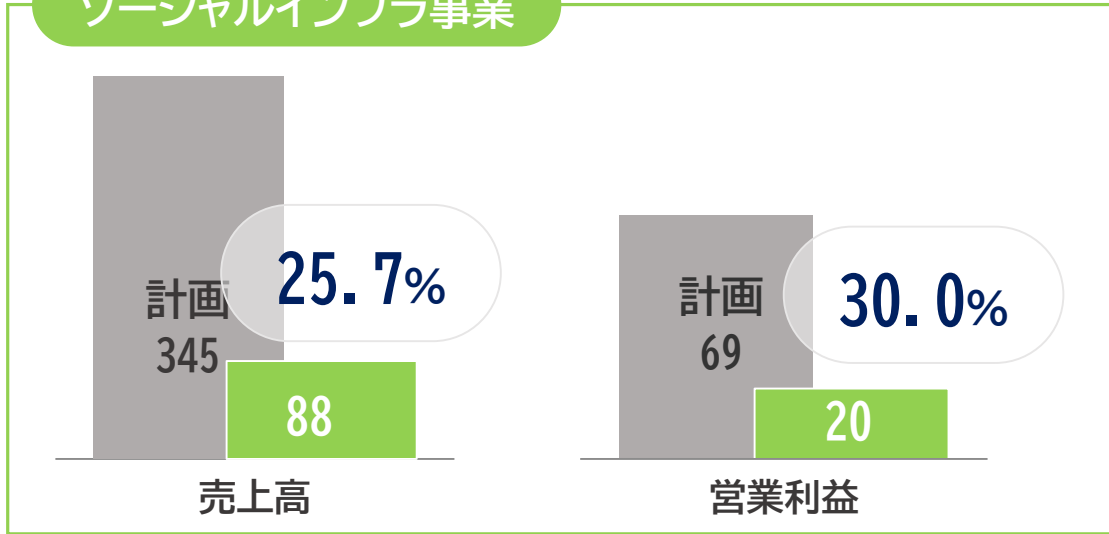
セグメント別決算概要

セグメント別決算概要

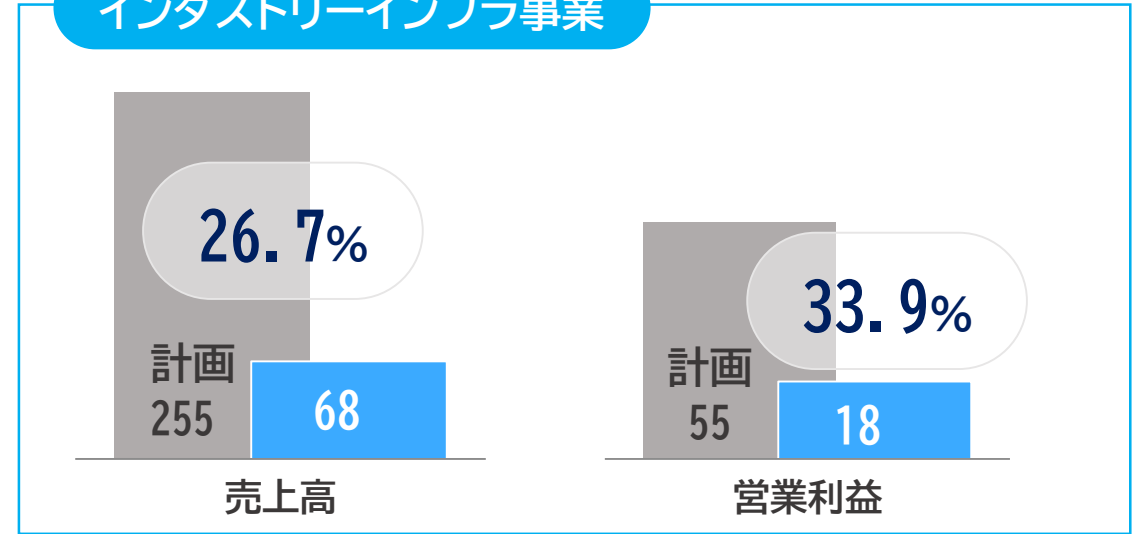
		2024年6月期 1Q 実績			2025年6月期 1Q 実績			
		金額	営業利益率	構成比	金額	営業利益率	構成比	増減率
売上高	ソーシャル インフラ事業	86		62.5%	88		56.5%	2.7%
	インダストリー インフラ事業	51		37.5%	68		43.5%	31.9%
	合計	137		100.0%	156		100.0%	13.6%
営業利益	ソーシャル インフラ事業	20	23.6%	68.4%	20	23.4%	52.6%	1.9%
	インダストリー インフラ事業	9	18.2%	31.6%	18	27.4%	47.4%	98.5%
	小計	29	—	100.0%	39	—	100.0%	32.4%
	全社・消去	△ 2	—	—	△ 3	—	—	—
	合計	27	19.7%	—	36	23.2%	—	33.9%

セグメント別計画に対する進捗率

ソーシャルインフラ事業



インダストリーインフラ事業

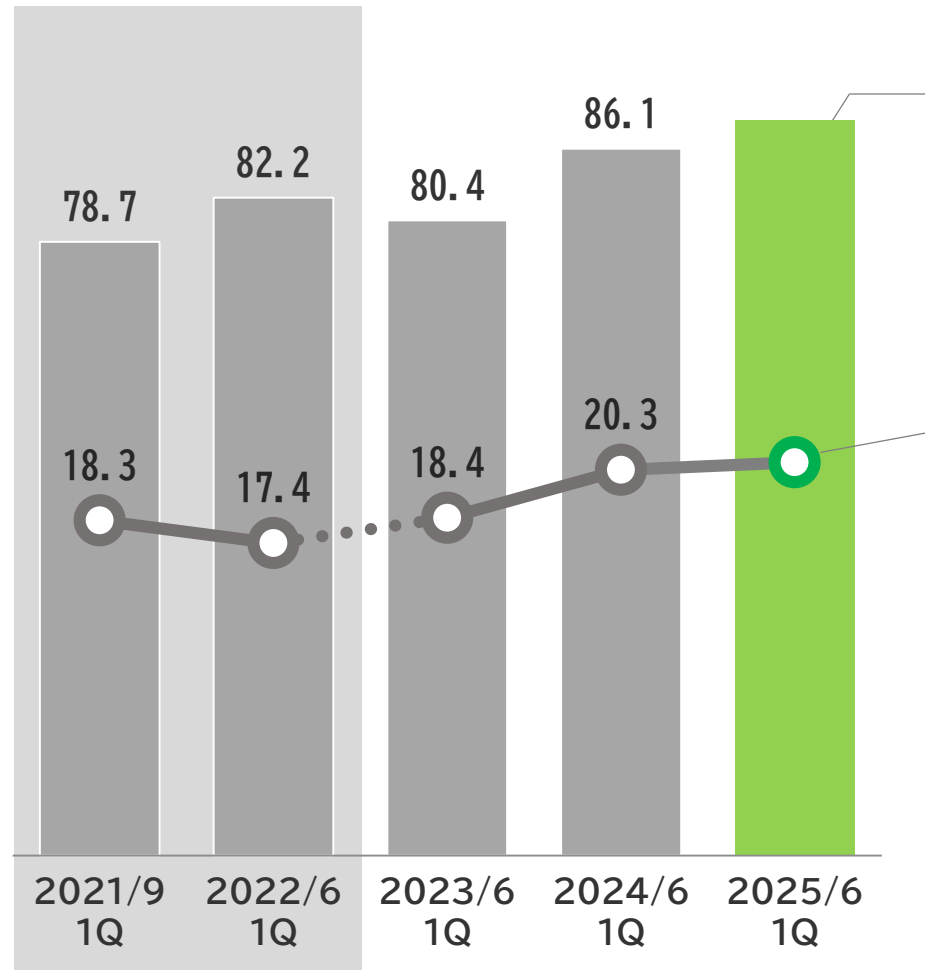


2025年6月期

	1Q実績	計画(通期)		1Q実績	計画(通期)	
		金額	進捗率		金額	進捗率
ソーシャルインフラ事業	88	345	25.7%	20	69	30.0%
インダストリーインフラ事業	68	255	26.7%	18	55	33.9%
全社・消去				△3	△12	—
合計	156	600	26.1%	36	112	32.4%



セグメント別業績概況－ソーシャルインフラ事業



売上高
88.4億円

営業利益
20.6億円

プラス要因

- 主力の土木資材のうち、特に盛土補強材と河川・海洋資材は順調に推移
(能登半島災害復旧、防衛等)
また、コンクリート構造物の維持・補修分野も引き続き好調。
- その他の子会社についても、業績は順調に推移した。

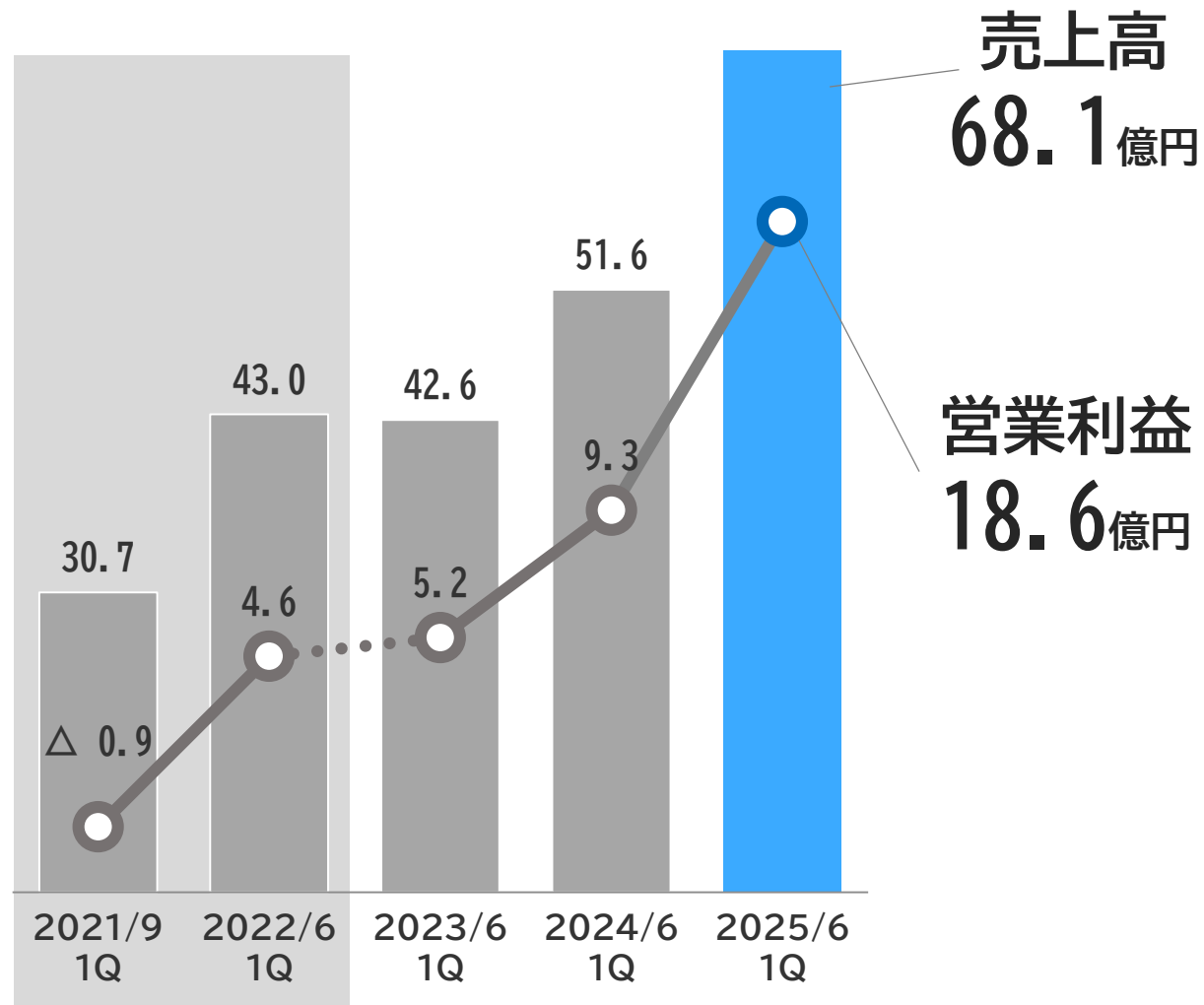
マイナス要因

- 農業関連事業のうち、ハウス事業については引き続き低迷している。
- 不織布事業も計画比若干のマイナスとなったが、ようやく回復基調となった。

※2021/9期～2022/6期の第1四半期の業績の期間は9/21～12/20です。



セグメント別業績概況ーインダストリーインフラ事業



プラス要因

- BBSジャパンにおいて、国内外のOEMメーカーの需要は旺盛で、国内アフターも順調に推移している。
- BBSドイツ子会社の業績は非常に好調に推移している。
- 生産効率化(良品率、工場稼働率の向上)により、利益率が向上した。
- 未来コーセン福井工場では自販・受託とも順調(ワイピングクロス等)で計画達成。

マイナス要因

- 未来コーセン金沢工場では加工系の売上は回復基調にあるが、一部の機械が低稼働となっている。

※2021/9期～2022/6期の第1四半期の業績の期間は9/21～12/20です。



3 2025年6月期 業績予想

業績予想(連結)

	2024年6月期 実績		2025年6月期			
	2Q	通期	2Q計画		通期計画	
			金額	増減率	金額	増減率
売上高	284	558	310	9.0%	600	7.5%
営業利益	56	107	60	6.0%	112	4.3%
E B I T D A	72	141	76	5.1%	145	2.8%
経常利益	54	112	60	9.6%	112	△ 0.3%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	37	79	42	11.7%	77	△ 3.5%

業績予想(セグメント別)

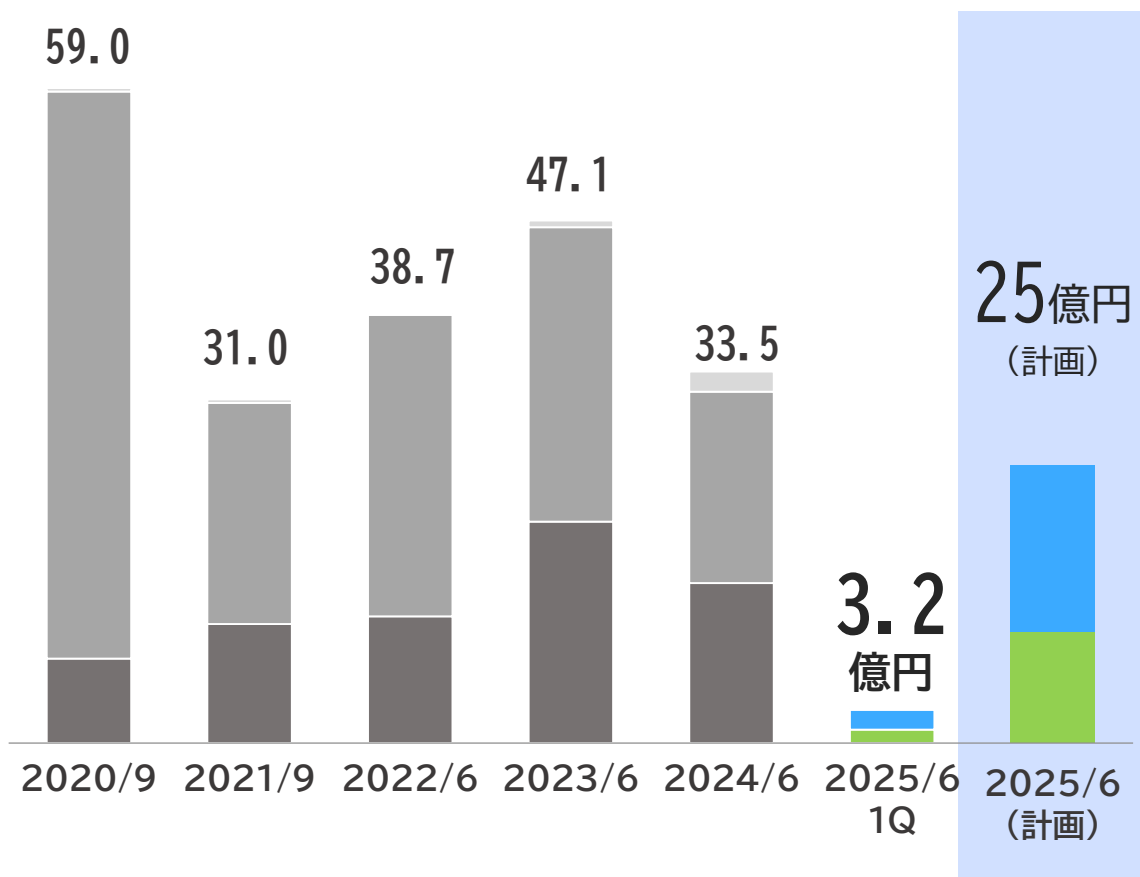
		2024年6月期 通期実績	2025年6月期	
			通期計画	増減率
ソーシャル インフラ事業	売上高	316	345	8.9%
	営業利益	67	69	2.1%
インダストリー インフラ事業	売上高	241	255	5.6%
	営業利益	51	55	7.8%
全社・消去	営業利益	△11	△12	—
合計	売上高	558	600	7.5%
	営業利益	107	112	4.3%

設備投資額・減価償却費予想

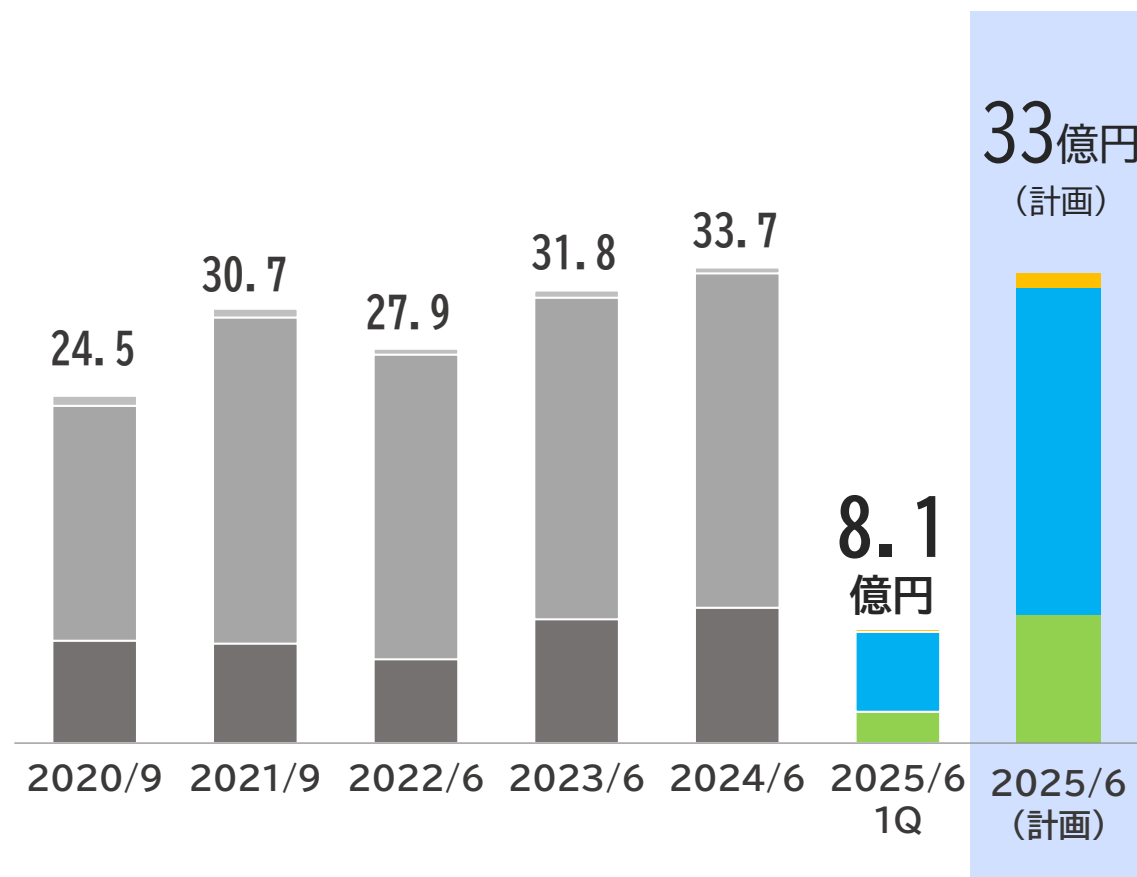
(単位:億円)



設備投資額



減価償却費



※2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

MDKグループ中長期ビジョン

4

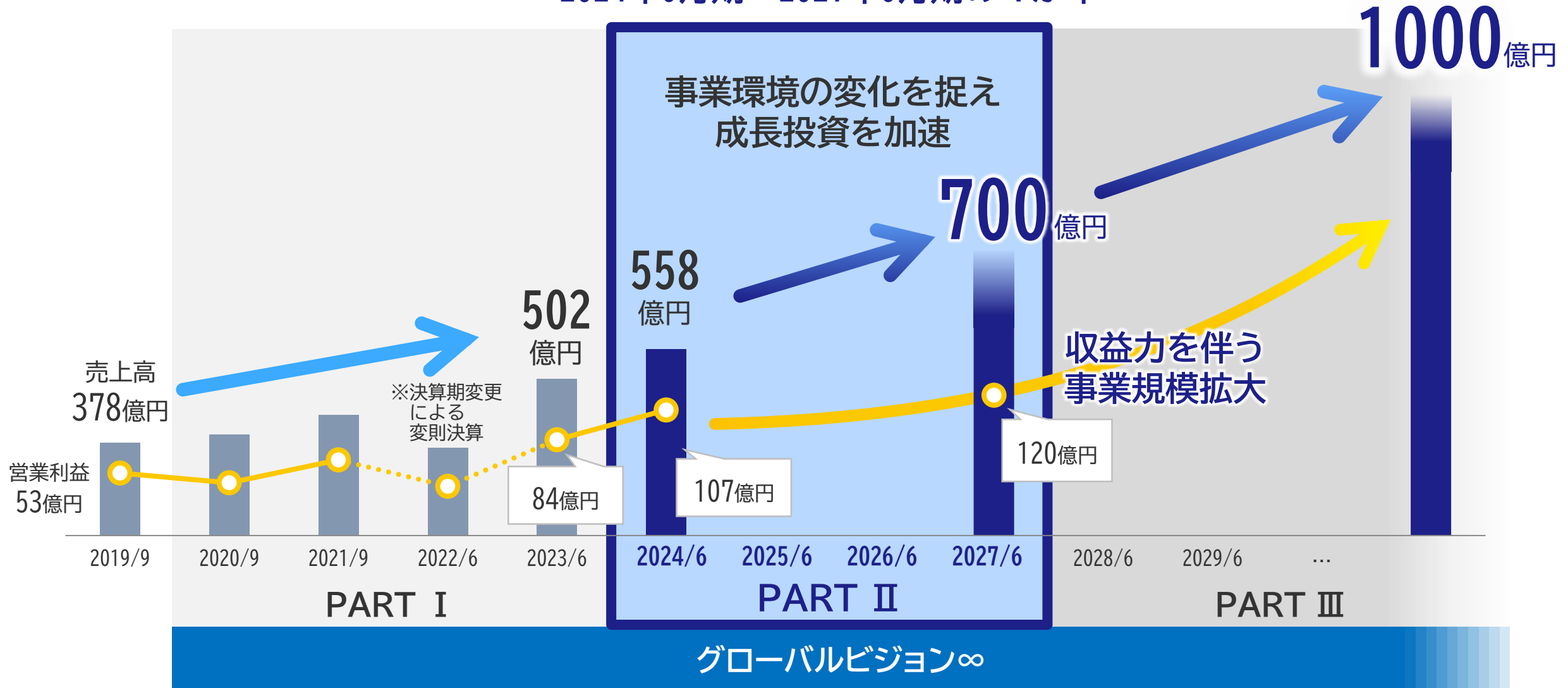
グローバルビジョン∞

- PART II -

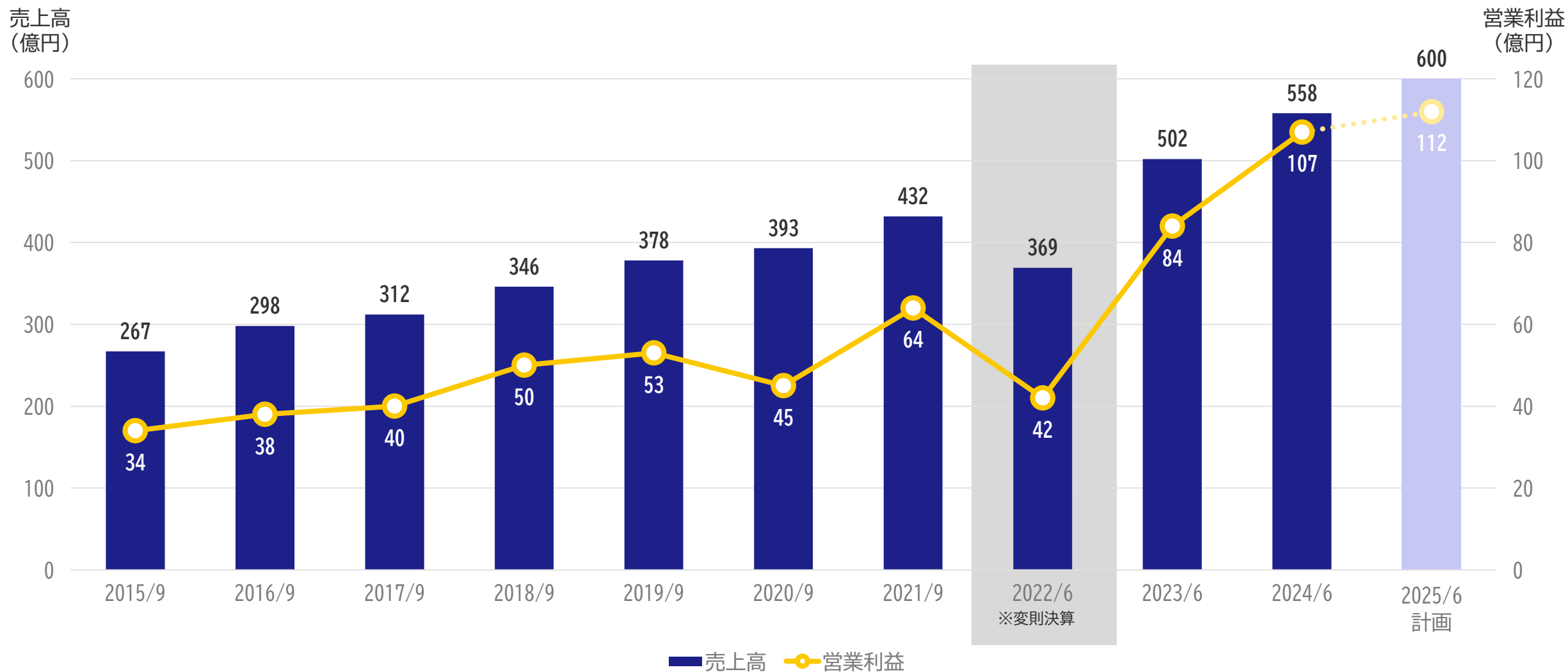
成長目標

PART II

2024年6月期～2027年6月期の4か年



連結業績推移(売上高・営業利益)



※決算期変更の経過期間となるため、2022年6月期は2021年9月21日から2022年6月30日までの9か月10日間です。

主要戦略

グローバルビジョン∞ 主要戦略(概要)



既存事業の強化と
新規事業進出

設備投資計画 150億円
(4年間合計)



M&A活用による
事業領域拡大

M & A 投資枠 200億円
(4年間合計)



グローバル
ネットワーク拡充

海外売上比率 30%
(2027年度目標)

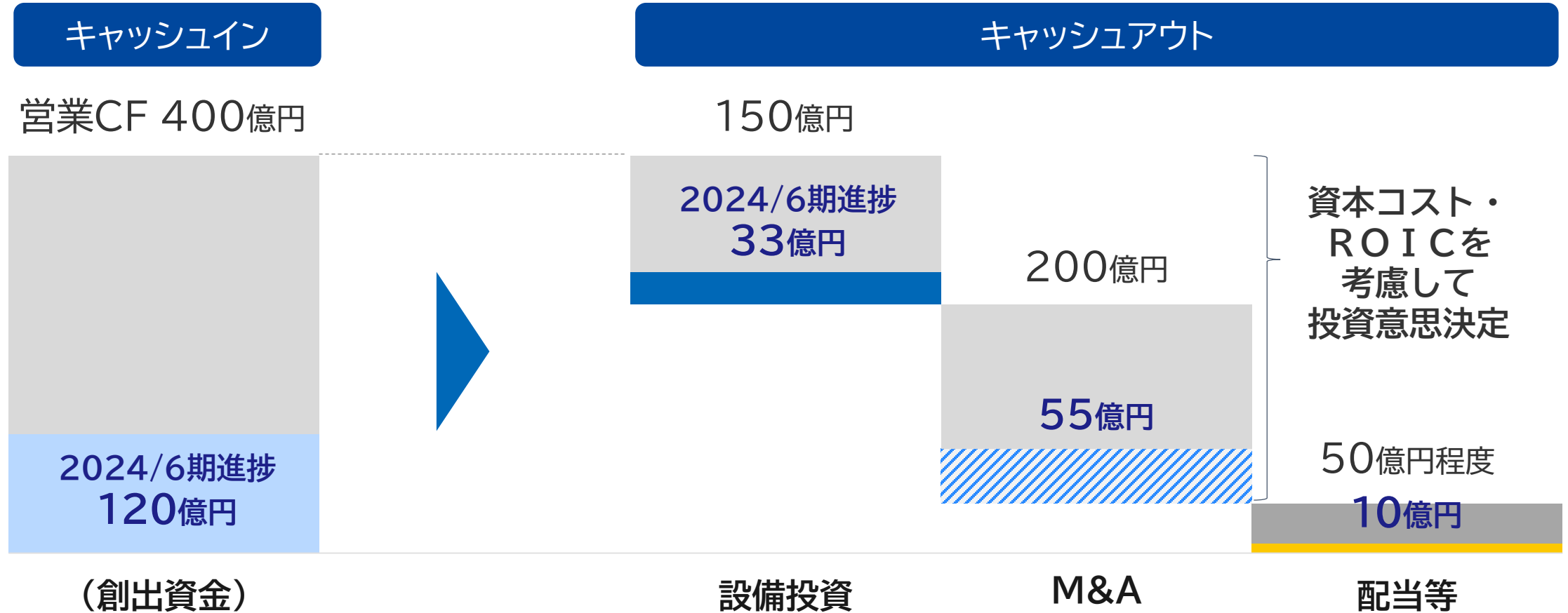


ESG+H

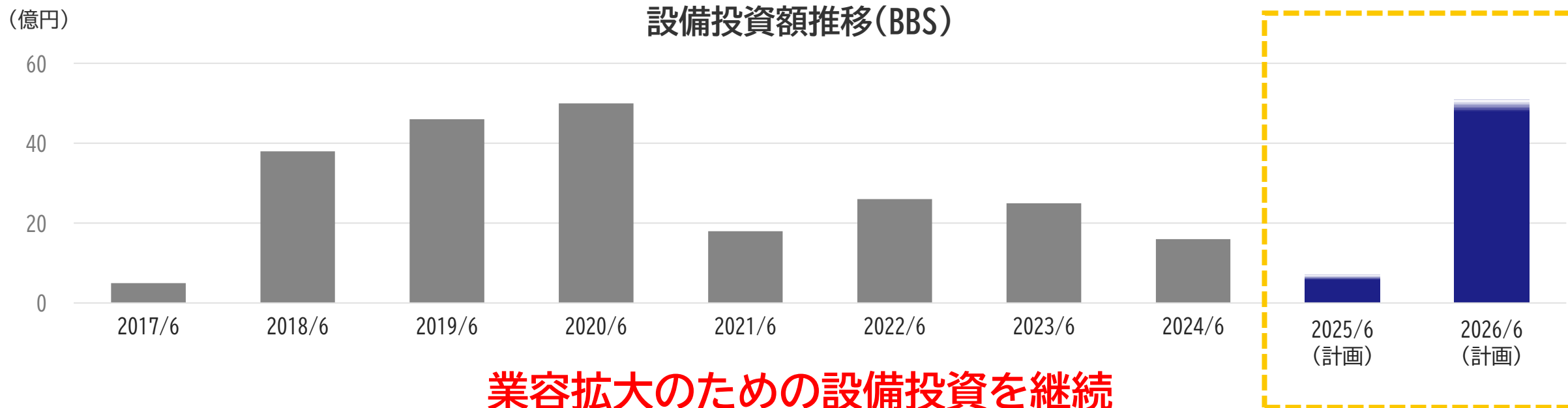
- 太陽光発電利用拡大
- エンゲージメント強化

キャッシュアロケーション

中計PART-II-期間(2024年6月期~2027年6月期)合計額(見込み)に対する進捗



ホイール事業 設備投資



TOPICS

経済産業省「中堅・中小企業成長投資補助金」採択案件

事業テーマ：プレミアムホイールのグローバル拡大に向けた生産能力増強プラン

↳ 「経営力」、「先進性・成長性」、「地域への波及効果」等の観点から審査

M&Aの活用・・・引続き有効な成長戦略として実行する

4か年間で**200億円**のM&A投資枠を設定、M&Aの実現で成長を加速

M&A方針

Target 原則「モノづくり」の会社、特別な技術・製品がある会社

PMI 凡事徹底 × 「混ぜる」

重点領域

既存事業の強化

新規事業の創出

既存事業同業

土木・建築資材、鳥獣害対策、園芸用ハウス、ブランド力を有する自動車部品

既存事業周辺

土木工事(法面、橋梁メンテナンス)、土木建築関連・農業関連資材、繊維関連製品

新規事業

ニッチトップ企業、官公庁関係向け事業、ヘルスケア、スポーツ、ペット用品

海外

土木・建築資材、ASEAN

- 生産現場の整理整頓・安全対策
- 適切な設備投資
- 継続的な生産改善活動
- 数値・成果の見える化
- 月次会議体制の整備
- 経営人材の提供

親子関係ではなく
対等なパートナー
として協力関係
を構築

グループの
人、モノづくり、
技術、ネットワーク
を「混ぜる」

数値目標(2024年6月期～2027年6月期)

	2023年6月期 (PART I)実績	2024年6月期 実績	2025年6月期 計画	2027年6月期 計画
売上高	502 億円	558 億円	600 億円	700 億円
営業利益	84 億円	107 億円	112 億円	120 億円
EBITDA	116 億円	141 億円	145 億円	150 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	52 億円	79 億円	77 億円	80 億円
ROE	12.4 %	15.1 %	12.3 %	12 %以上





5

会社概要

企業情報

(2024年9月30日現在)

会社名	前田工織株式会社		
本社	福井本社: 福井県坂井市春江町沖布目38-3 東京本社: 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館12F		
代表者名	代表取締役会長 前田 征利 代表取締役社長 前田 尚宏		
創業	1918年	設立	1972年
決算	6月30日	資本金	6,422百万円
従業員数	1,571人(役員、嘱託・パート、実習生、派遣を含む)		
発行済株式数	68,080,612株 (うち自己株式 82,686株)		
証券コード	7821(東京証券取引所プライム市場)		
単元株数	100株	株主総数	3,568名 (2024年6月30日現在)



グループ事業内容

ソーシャルインフラ事業

社会のインフラづくり 防災・減災



取扱製品

土木資材、建築資材、各種不織布、外壁用防水・保護・仕上げ材、
獣害対策製品、園芸用ハウス・農業資材、防衛省天幕、装備品、
フィッシュミール・魚油等

インダストリーインフラ事業

産業のインフラづくり 自動車ホイール・産業資材



取扱製品

自動車用高級鍛造ホイール、精密機器製造用ワイピングクロス、
各種繊維の加工、丸編製品等

前田工織グループ

ソーシャルインフラ事業



インダストリーインフラ事業



前田工織 は **混**ぜる会社です

「人」と「技術」を混ぜる会社です
混ぜると 化学反応が 起きるのです
「イノベーション」は化学反応の「果実」

世界一のイノベーターを目指し
社会のあるべき姿 人間のあるべき姿を
追い求めていきます

企業理念

基本理念

人と人との良いつながりが
すべての基本であり目標です。

経営理念

私たちは 独自の知恵と技術で
持続可能な地球 そして
安心・安全で豊かな社会を創るために
貢献してまいります。

行動理念【MDK五徳】と【仁】

【知行合一】

1. 人も企業も「真っ直ぐ」生きよう。

義

2. 失敗を恐れず、無限[∞]の可能性に挑戦しよう。

勇

3. 現場へ出て、本質を見抜き、本気で変えよう。

信

4. どこにもないモノを、どこにもない方法で、創り出そう。

智

5. 人も企業も学び続けよう。

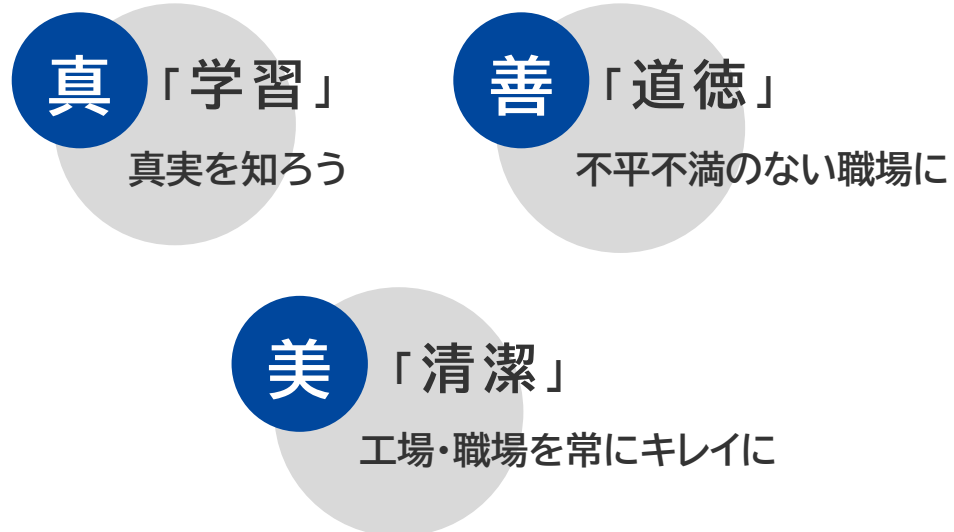
礼



行動指針・判断基準

行動指針

「真・善・美」の整った会社(組織)づくりへ

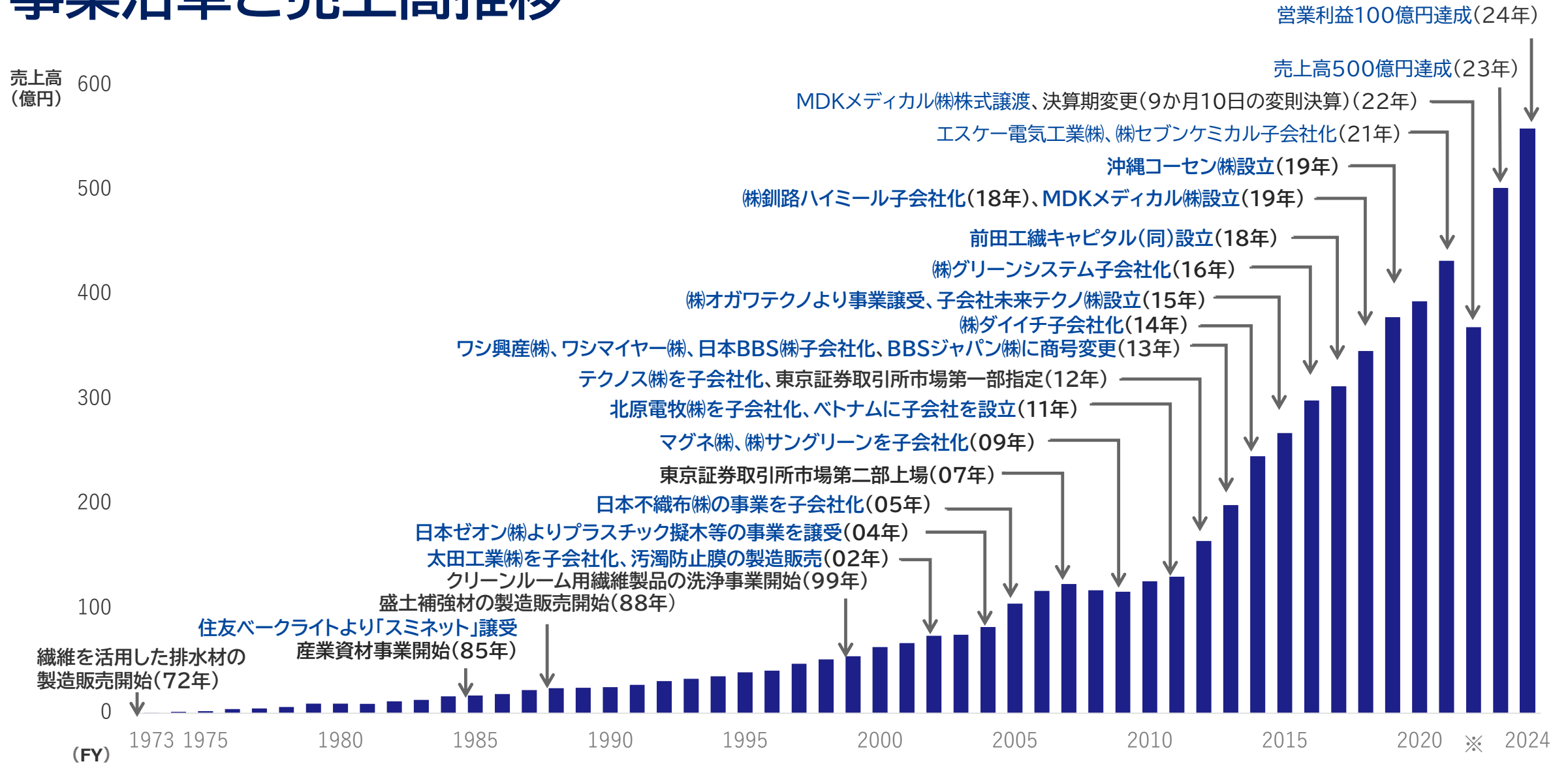


判断基準

「SSLQDC」～この優先順位で判断・行動しよう～

- 1 Safety** 人の安全と健康
- 2 Society** 地域社会への貢献
- 3 Law** コンプライアンス・法令順守・環境保全
- 4 Quality** 品質・信頼性
- 5 Delivery** 納期厳守
- 6 Cost** コスト削減

事業沿革と売上高推移



変則決算

ネットワーク(国内)

前田工織(単体) 事業所:14拠点/工場:5ヶ所

福井県

福井本社・本社工場
丸岡工場
坂井工場

未来コーセン
本社・福井工場
武生工場

北陸(福井除く)

新潟営業所
金沢営業所

BBSジャパン
本社・高岡工場
四日市工場

未来コーセン(株)
金沢工場

中国・四国

広島支店
岡山事務所
四国支店

九州・沖縄

福岡支店
鹿児島事務所

沖縄コーセン

中部・近畿

名古屋支店
大阪支店
西宮工場
能登川工場

東北

仙台支店
盛岡営業所

未来テクノ 工場
未来のアグリ 福島本社

関東

東京本社

未来テクノ 東京本社

セブンケミカル
本社
埼玉工場

BBSジャパン 東京本社

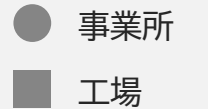
前田工織キャピタル合同会社 東京本社

北海道

札幌支店

未来のアグリ
札幌本社
千歳工場

釧路ハイミール 本社



ネットワーク(海外)



ドイツ

ハスラッハ

BBS Motorsport GmbH
BBSジャパン(株) ドイツ子会社



ベトナム

バクニン省

MAEDA KOSEN VIETNAM CO., LTD.
(前田工織ベトナム有限会社)



本資料お取り扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予想は本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご了承ください。

本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

前田工織株式会社 福井広報部

TEL:0776-51-9577 / URL:<https://www.maedakosen.jp>

